

会員消息

○故鈴木栄太郎氏の著作集の第一巻（『日本農村社会学原理』の前半）は、目下、笹森秀雄・布施鉄治・藤木三千人氏らの編集で原稿が印刷所へ手渡される直前にまできている由。

○有賀豊左衛門会員の著作集は、目下、第五巻『村の生活組織』（旧著『村落生活―村の生活組織―』を主体とする）が再校の段階に入っている。第一・三巻『日本家族制度と小作制度』、第三巻『大家族制度と名子制度』につづく、第四巻『封建遺制と近代化』まで既刊。事務局気付中野あて、定価の八〇％で送金あれば送本させます。郵送料はとどいた小包の切手を見てそれと同額の切手を未来社編集部あてお送り下さればよい由。

○東北大の日本経済史研究室より『月報、社会史研究』なる文献が刊行されていることを御存じですか。最近号（一九六七年一月刊）は、第二巻七号（通巻一九号）で内容は、大川健嗣氏による「ターナー理論（フロンティア論）に関する覚書」で、アメリカの農村社会史の研究に深い関連をもつターナーの研究を紹介し批判しようとするもの、今回はその（一）を載せ、次号へ連載される。また、同様に、この号より岩本由輝氏による『盛岡藩津軽石村漁業関係史料』（一）が連載しはじめられる。（仙台市片平丁、東北大、経済学部、日本経済史研究室、頒価三〇円（郵送料共））。